

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

材料強弱試験機に於ける試験片の破断と同時に表示する伸長又は屈曲測定装置 (7年特許公告 第2319號、公告7-6-13、東京府、石井時三) 破断したる瞬間に於ける試験片の伸長又は屈曲を自動的に表示せしめ以て迅速にして容易且つ正確なる測定を行はんとする目的を以て、電磁石に依りて作動せしむべくなしたる回動係止片に自重若くは撥條等に依り徐々に動作すべく構成せる移動桿を挿通して該係止片か一定の方向に位置せる場合にのみ移動桿に動作をなさしめ係止片か或る角度廻動する時は移動桿を係止せしむべく構成し更に試験片の伸長若くは屈曲に従ひて動作する昇降桿に接觸子を設け此の接觸子と移動桿とか相接觸せる間のみ勵磁回路を成して移動桿を自由に動作せしめ試験片か破断して昇降桿か急激なる動作に移りたる瞬間に勵磁回路を開きて係止片を廻動せしめ以て移動桿に關聯して動作する指針等の表示部を其位置に停止せしむべく構成せる材料強弱試験機に於ける試験片の破断と同時に表示する伸長又は屈曲測定装置。

Ni, Al, Co を含有する磁石鋼 (7年特許公告 第2322號、公告7-6-13、東京府、三島徳七) 原特許(昭和7年特許出願公告第1174號)の磁石鋼より其抗磁力反残留磁氣及加工性を改良する目的を以て Ni 5~40%、Al 1~20%、Co 0.5~40%、殘部 Fe を含有する磁石鋼。

(附記) C 1.5% 以下又は之と少量の不純物とを含有するもの。

Ni, Al 及 Mn を含有する磁石鋼 (7年特許公告 第2323號、公告7-6-13、東京府、三島徳七) 原特許(昭和7年特許出願公告第1174號)の磁石鋼より其靱性を増し鍛錬性を良好ならしむると共に残留磁氣抗磁力を改良する目的を以て Ni 5~40%、Al 1~20%、Mg 0.5~10% 殘部鐵を含有する磁石鋼。

(附記) C 1.5% 以下又は之と少量の不純物とを含有するもの。

Ni, Al 及 W を含有する磁石鋼 (7年特許公告 第2324號、公告7-6-13、東京府、三島徳七) 原特許(昭和7年特許出願公告第1174號)の磁石鋼より其残留磁氣抗磁力を増加すると共に靱性を改良するの目的を以て、Ni 5~40%、Al 1~20%、W 0.5~8% 殘部鐵を含有する磁石鋼。

(附記) 上記に於て C 1.5% 以下又は之と少量の不純物とを含有するもの。

固體燃料を氣化して一酸化炭素に富める瓦斯を製造する方法 (7年特許公告 第2331號、公告7-6-13、伊太利、エス、アイ、アール、アイ、ソシエタ、イタリアナ、リサーチ、インダストリアリ) 爐の作業を連続的に行ひ且つ爐の破損を少なからしめむとする目的を以て、瓦斯發生爐内に於て固形燃料に酸素と水蒸氣又は酸素と二酸化炭素との混合瓦斯を噴射して瓦斯化を起さしむるに重量に於て 30% を越えざる水蒸氣又は二酸化炭素と酸素との混合瓦斯を用ひ此の混合瓦斯を1分間に付10米を下らざる速度の下に瓦斯發生爐内に送入する工程と斯くして生じたる塵狀の灰分並に瓦斯を洗滌液中に導きて瓦斯を淨化する工程との結合を特徴とする一酸化炭素に富む瓦斯の製造法。

白熱體を測定する装置 (7年特許公告 第2332號、公告7-6-13、獨逸、カイザー、ウイヘルム、インスチット、フュア、アイゼンフォルシュング、アインゲトラゲナー、フェライン) 構造簡單にして作用確實なる上安價なる此種高温計を得むとする目的を以て、白熱體より輻射する輻射線の色に依りて其の白熱體の溫度を測定するに當り先づ輻射線をして數種の色を透過する平面濾光障を通過せしめ次に之を楔形濾光障を通過せしむべくなし該楔形濾光障としては前記平面濾光障を通過せる輻射線が一部を吸収することなく透過せしむるも前記輻射線の殘部を楔形の厚さに比例する増加率を以て吸収すべくなしたるものを使用し斯くして前記楔形濾光障を通過せる輻射線を特定せる一點に當らしめて中性色若くは混合色を生ぜしむべくなしたることを特徴とする白熱體の溫度を測定する装置。

金屬片の螺旋狀捲回装置 (7年特許公告 第2338號、公告7-6-13、米國、スリーパー、エンド、ハートルレー、インコルポレーテッド) 断面角形の長き材片を所望のピッチ、アングルに於て螺旋狀管に作製すると共に材片の幅又は螺旋狀管の直徑の變化に應じ極めて容易に操作し得る装置を得る目的を以て、可轉の被驅動捲回用ロールの一群を保持する榎結工具頭に向て金屬材片を強送しロールは其回轉方向によりて右螺又は左螺の孰れの螺旋管をも作成し得べくせられ且つ螺旋管の直徑を變更すべく調整し得る螺旋狀捲回装置に於て金屬材片の給送線に直角をなせる軸に榎結したる支持管にロールを装置し支持管の軸心と金屬材片給送線間の鈍角的交角を支持管の榎結軸周に於ける調節により變更して螺旋管のピッチ、アングルを決定すべくせられたる金屬片螺旋狀捲回

装置。

瓦斯タービン装置 (7年特許公告 第2352號、公告7-6-15、瑞典、アクチエボラーゲッド、ミロ) 装置設計の負荷に於ては勿論のこと 尙其他の負荷に於ても同様従來に比すれば 遙に高率を以て作動し得べき瓦斯タービン装置を得んとする 目的を以て、互に機械的に分離して軸上に設けたる2個の装置部分より成り其一方の装置部分を以て壓縮機装置を形成し之に1個又は以上の瓦斯タービンを具有し主として之に依り 燃燒空氣又は瓦斯若くは兩者の混合物を壓縮する1個又は以上の壓縮機を運転すべくし其他方の装置部分には 實質上1個又は以上の動力供給瓦斯タービンを有せしめ而して1個又は以上の壓縮機の排出管は直接又は間接に該瓦斯タービンの1個又は以上に於ける給入管と直通せしめて成る瓦斯タービン装置。

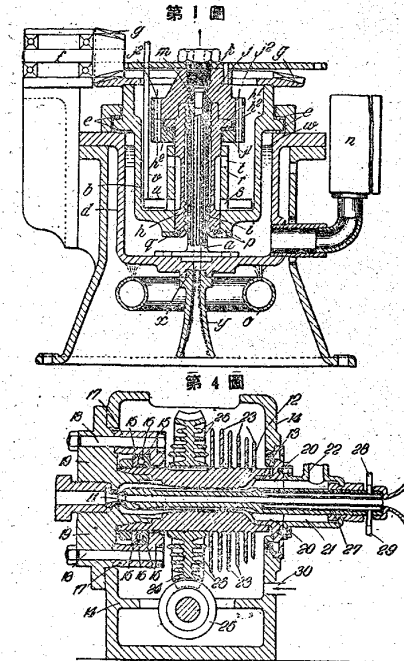
瓦斯タービン装置 (7年特許公告 第2353號、公告7-6-15、瑞典、アクチエボラーゲット、ミロ) 此種装置に於ける従來の缺點を除去しタービンの純率を可及的良好ならしむる如く 壓縮せる瓦斯又は空氣の利用を爲さしめむとの目的を以て、驅動媒體の溢出管を装置に附屬し且タービンを包圍する構の外部に装置したる 驅動媒體用加熱装置に連結して成るを特徴とする 瓦斯タービン装置。

自己蒸氣發生式重油燃燒機 (7年特許公告 第2357號、公告7-6-15、尼崎市、古谷眞一) 蒸氣の發生を迅速確實ならしめ プライミングに伴ふ滅火の虞なからしむると同時に加熱度の調節を容易ならしめ 以て始發を容易ならしめ 且つ簡易に所要程度の燃燒を持続せしめむとする目的を以て、重油噴射嘴の前方に設けたる 環狀汽罐と其の給水管との中間にフロート、バルブに依る制御装置を設けて汽罐内の水準を自動的に一定せしめ 汽罐の上部には過熱管を突設し 其の内部に送汽管の一端を挿入して蒸氣をして過熱管の内部を往復して噴射装置に供給せしめ且つ該汽罐を機を中心線に平行して設けたる送汽管及案内棒により噴射嘴に對し 容易に進退し得べく設けて成る自己蒸氣發生式重油燃燒機。

金屬管等の壓出装置に關する改良 (7年特許公告 第2363號、公告7-6-15、英國、W. T. ヘンレース、テレグラフ、ワークス、コムパニー、リミテッド) 鉛等の金屬壓出装置に於て 金屬壓出の結果装置の成型型と圍型とを分離せんとする 緊張力を該金屬流の一般方向に變化を生ぜしむることなく 該成型型附近の部分にて受けしめ之に依り此種公知装置に於て従來必要なりし装置主體の龐大なること又は特殊抗張片を必要とせる缺點を除去する目的を以て2個の相對的に廻轉し得る同心片を備へ

其内片は尖端保持器或は心を構成し 其外片は圍壁を構成し前記外片は螺絲を有し 前記内片は従助或は縦溝或は此二者を有し 又前記螺絲に熔融鉛或は鉛の合金を供給する

装置を備へ鉛或は鉛の合金は凝固後適宜の成型型を通じ管狀或は電纜鞘片狀に壓出せられ成型型は前記外片即ち圍壁の隣接端に此二者間に相對的回轉をなし得る如き様式にて固着せられ依つて壓出する金屬中の壓縮中の壓縮力の結果として本装置中に生じ外片或は圍壁に成型型とを分離せんとする緊張力



をして金屬流の一般方向に變化を起すことなく成型型附近の部分にて適當なる装置 (例へば (h¹) (h²) (j₁) 及 (j₂)) により抵抗せしむる如き金屬管等の連續壓出装置。

電氣熔接用電極支持器 (7年特許公告 第2375號、公告7-6-15、瑞西、ウィリアム、シャアベリツツ) 斯種電氣熔接を簡易且つ確實に施行し得る電極支持器を得んとする目的を以て 電氣良導性の頭部片に装着せらるゝ豫熱電極及熔着電極は 其相互位置を電極支持器の軸線に對し横向きなる面内に於て變更せしめ得可くせるを特徴とする銅及其合金或は之と鐵又は鋼とを電氣熔接するに當りて使用する電極支持器。

金合金 (7年特許公告 第2428號、公告7-6-20、東京、稻見角治郎) 適度の硬度と弾性とを有し色澤美にして鑄造し易き齒科用金合金を廉價に得んとする目的を以て Cr 0.01%~10%、或は Cr 0.01%~10% と Ni 0.1%~30% との混合物と Cu 0.5%~20%、Zn 1%~25% と殘全部の Au を含有せる金合金。附記、Cr 0.01%~10% 或は Cr 0.01%~10% と Ni 0.1%~30% との混合物と Cu 0.5%~20% と Zn 1%~25% と痕跡量の Ag と其殘全部の Au を含有せる金合金。

砂鐵より磷分少き V, Ti 鋼の製造方法 (7年特許公告 第2477號、公告7-6-22、大阪、莊司市太郎) 同一電氣爐内にて砂鐵より優良なる性質を有する V, Ti 鋼を得んとする目的を以て砂鐵又は砂鐵製海綿鐵に石灰

分及炭素分を加へて熔解し其の生成熔鋼中には燐分を高石灰還元性鑛滓中には V , Ti 分を夫々保有せしむる第一工程と含燐熔鋼に酸化鐵分及石灰分を加へて加熱して高石灰酸化性鑛滓を生成せしめて熔鋼中の燐分を該鑛滓中に可及的に移行せしむる第二工程と低燐熔鋼に第一工程より得らるゝ高石灰還元性含 V , Ti 鑛滓及炭素分を加へて加熱し該鑛滓中の V , Ti 分を低燐熔鋼中に還元移行せしむる第三工程との結合を特徴とする砂鐵より燐分少き V , Ti 鋼の製造方法。

出銑口充填機 (7年特許公告 第2488號、公告7—6—24、獨國、エデュ、アルド、シーグリース) 簡單なる構造により最も有効に且安全確實に出銑口の充填作用を行はしめ得る充填機を得んとする目的を以て充填唧子の後進に際し嘴管が閉塞せられ前進の際には調節自在なる反對壓力に達せる時初めて開放せらる 出銑口充填機に於て閉塞作用を行ふべき遮止瓣をして壓搾氣管を介し作働氣管側と連結せしめ且該遮止瓣を上昇せしむるため導管内に所要の反對壓力に調整し得る唧子を設けたることを特徴とする出銑口充填機。

鉛或は鉛の合金を鍍金する方法 (7年特許公告 第2506號、公告7—6—24、東京、所敬之) 操作容易にして剝離し難き鉛或は鉛の合金を金屬體に鍍着せしめんとする目的を以て銅、鐵、銅等を被鍍金材として之に Ni 或は Cr 或は Co を公知方法によりて電氣鍍金し次に之を熔融せる Pb 或は Pb の合金中に入るゝことより成る Pb 或は Pb の合金を鍍金する方法。

オイル、バーナー (7年特許公告 第2523號、公告7—6—27、東京、林榮三) 噴霧狀粒子の大なるものを分離し少なるものゝみを充分に空氣と混合して燃燒部に導き以て燃燒を迅速且完全ならしむる目的を以て壓力流體により燃料を噴霧狀となして噴出せしむべき噴嘴を擴大せる混合室によりて包被し該室の噴出口に前記壓力流體の噴嘴を設け之により該室内の混合氣を誘出せしむべくなしたるオイル、バーナー。

接地板製造法 (7年特許公告 第2526號、公告7—6—27、茨城縣、鈴木平七) 導線と銅板面とを融着せしめて電氣抵抗を小ならしめ機械的堅牢度を増大せしむる目的を以て導線端を分裂して銅板に挾着し兩側に溝狀截缺を設けたる保護管を導線に挿通して前記の挾着部を覆ふ様更に之を銅板に挾装し型に依り加熱壓搾して前記各部を一體に融着せしむることを特徴とする接地板製造法。

低級酸化マンガンの電解酸化方法 (7年特許公告 第2531號、公告7—6—27、東京、合資會社杉林黒鉛滿庵製煉所) 粒狀酸化 Mn 鑛に何等の處理を行はずして

直に之を陽極板上に載荷し短時間内に該粒狀物の内部迄電解酸化せしめ從來の如く電解液に硫酸等を使用せざることにより電解後の水洗操作を簡單ならしめ乾電池に有效なる二酸化 Mn を得んとする目的を以て低級酸化 Mn 鑛を粉碎して適宜の粒狀となし之を過酸化鉛を塗布せる鉛陽極板上に載荷して電槽内に置き之に過 Mn 酸加里及 V 酸ソーダの混合溶液より成る電解液を満たし陰極を懸垂して之に電流を通ずることより成る低級酸化 Mn 鑛の電解酸化方法。

ニッケル合金層形成法 (7年特許公告 第2547號公告 7—6—27、東京、加藤與五郎外一名) Cu 又は Cu 合金面の硬度を増進せしめ又は耐蝕性となさんとする目的を以て Cu 又は Cu 合金面に Ni 電鍍をなし之れを加熱することを特徴とする Ni 合金層形成法。

銅鐵錫鑲素合金 (7年特許公告 第2569號、公告7—6—29、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し耐摩滅性大、強力にして高温に耐へ得、しかも相當の延伸率を有し且つ黄赤色の美麗なる光澤を有する安價なる合金を得んとする目的を以て Cu 45~92.8%、 Fe 7~45%、 Sn 0.1~10%、 Al 0.1~10% を含有する合金。

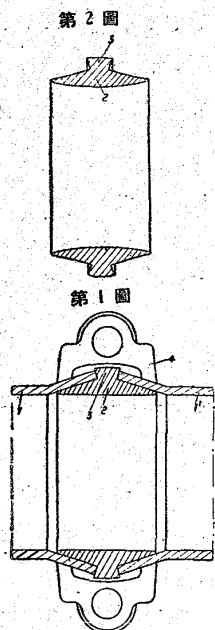
銅鐵鑲素亞鉛合金 (7年特許公告 第2570號、公告7—6—29、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し強力にして且つ耐摩滅性及耐蝕性大なる合金を得んとする目的を以て Cu 34~93.5%、 Fe 5~25%、 Al 0.5~6%、 Zn 1~35% を含有する合金。

排氣管内に閉塞傘を有する二衝程孔溝掃除式機關 (7年特許公告 第2577號、公告7—6—29、獨國、マシーネンファブリック、アウグスブルク、ニュルンベルク、アクチエンゲゼルシャフト) 高速機關に於ても廢氣道に何等の妨害物を置かずして而も掃除空氣を徒らに逸出せざらしめんとする目的を以て排氣溝が唧子竝に排氣管内に存在し掃除用孔溝が閉塞せらるゝや否や排氣を遮斷する過轉傘に依りて調節せらるゝ二衝程孔溝掃除式機關に於て廻轉傘の軸が傘匣の壁を貫通せる後直ちに急角度に屈曲せられ斯くして傘の開放位置に於ては傘匣の側壁に近接し廢氣をば何等の妨げなく排出せしむる事の特徴とする二衝程孔溝掃除式機關。

銅合金の熱處理法 (7年特許公告 第2583號、公告7—6—29、米國、ミカエル、ジョージ、コーソン) 軸受、軸套、唧筒筒、齒車等の如き磨滅面に使用し安價にして耐久力大なる合金を得んとする目的を以て Cu を基礎として Sn 4~18%、 Zn 10~35% とより成れる合金を 650~800°C に加熱したる後急冷し硬き針狀組織となし次に共晶點以上の溫度例へば 550~620°C の溫度にて再熱し

針狀組織を破壊しベーター相の硬き粒状分子をアルファ相の母體中に均等に分布せしめたる後更らに此ベーター相の成分をしてアルファ相とデルター相に分解し且組織を安定ならしむるため攝氏 250~550 度の溫度特に 450~525 度の溫度に適當時間保持し冷却せしめ合金の性質を改良せしむることを特徴とする *Cu* 合金の熱處理法。

パイプジョイント等の改良 (7年特許公告 第 2587 號、公告 7-6-29、英國、ジョージ、リヤード、インシヨウ) 製作費廉、取扱簡單にして確實なる可撓性ジョイントを得んとする目的を以て、可撓性環は使用前の形に於



ては正確にパイプの圓錐形末端に適合せずしてその外稜は圓錐形パイプ端よりも僅かに大なる直徑を有しその内壁は凸面に彎曲し以て環をその位置に取付く時は外稜は收縮せしめられ初めて可撓性環かパイプの圓錐狀末端に適合し管孔と一致せる圓筒形通路を形成する事の特徴とする接合せらるべき2個のパイプ等をして二重圓錐形或は圓錐形に近き形の凹部を形成する如く其相隣の端部を圓錐形となすか或は膨脹せしめ該凹部にはパイプ端に接する圓周狀稜或は凸部を有し且又パイプの圓錐形外面を包む中空函に依りて包まる、可撓性環を容れたるパイプ等のジョイント。

炭素含有物質の分解加壓水素添加法 (7年特許公告 第 2539 號、公告 7-6-29、獨國、ドイチェ、ゴールド、ウント、ジルベル、シャイデアンスタルト、フオールマルス、ロエツスレル) 種々の炭素含有物質特に硫黄含有物質の分解加壓水素添加を極めて有利に行はんとする目的を以て *H* 添加操作中に導き歸されたる瓦斯の硫化 *H* 含有量を減壓せられたる壓力の撰擇に依りて *H* 添加槽中に於て一定の即ち *H* 添加せらるべき物質に對し 1~15% の間に存在し且 *Mo* 觸媒及 (或は) *W* 觸媒の作用を最適に高むるが如き硫化水素濃度が維持せらるる如く調節する事の特徴とする *H* 添加操作の廢瓦斯を部分的に減壓する事に依りて得られたる *H* を新規なる *H* 添加に使用し得べくなしつゝ、高温及高壓特に 100 氣壓以上の壓力に於て *Mo* 觸媒及 (或は) *W* 觸媒の存在に於て *C* 含有物質殊に *S* を含有する物質を *H* を以て處理する事に依りて品位を高むる方法。附記、*H* 添加生成物を更に減壓する事に依て尙得らるゝ炭化水素に富む廢瓦斯よ

りその中に存在する硫化水素を抽出し水素添加瓦斯を希望する硫化水素含有量に調整するために使用する方法。

アルミニウム合金 (7年特許公告 第 2590 號、公告 7-6-29、英國、ロールス、ロイス、リミテッド) 攝氏約 200°C の高溫度處理を受くるも機械的性質及疲勞に對する抵抗を減ずること少なき合金を得んとする目的を以て *Fe* 1.55~3.0%、*Mg* 0.7~2.2%、*Cu* 0.5~2.5%、*Si* 0.8~3.0%、*Ni* 0.2% 以下、*Al* 殘餘他の元素痕跡より成る *Al* 合金。

抗蝕性輕合金 (7年特許公告 第 2597 號、公告 7-7-1、西宮市、山村市男) 大氣溫氣酸類鹽類又は海水等に抗蝕力著しき地金を得一般器具機械艦船用材航空機用材等の製造に適用す可き鑄造用及壓延鑄物用合金を得んとする目的を以て *Mn* 0.1~6.0%、*Sn* 0.05~3.0%、*P* 0.005~0.3%、*Al* 殘部及其不純物を含有せる抗蝕性輕合金。

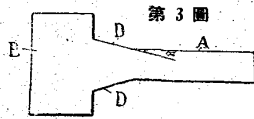
磁性合金 (7年特許公告 第 2601 號、公告 7-7-1、仙臺市、金屬材料研究所長) 弱き磁場に於て甚だ高き初導磁率を有しヒステリシス損失少なく且高き比抵抗を有し製造加工亦容易なる磁性合金を得んとする目的を以て *Ni* 40~90%、*Fe* 10~60%、*Sn* 0.1~5.0% を主成分とし副成分として *Cr* 5% 以下を含有する磁性合金。附記、副成分として *Si*、*Mn* 又は *Al* の何れか1種又は2種以上を 2% 以下含有する磁性合金。

アルミニウム屬金屬又は其合金より成る製品の處理方法 (7年特許公告 第 2602 號、公告 7-7-1、仙臺市、金屬材料研究所長) 斯種金屬製品を簡單且安價に美化し其品位を向上せしめ且腐蝕防止に資せしめんとする目的を以て *Al* 又は *Mg* 並に夫等の合金を以て作れる製品の表面に所望の模様を印刷せる轉寫紙を貼附して其模様を轉寫し而して後轉寫紙を水にて濡し之を剥ぎ去る事により製品に種々の模様を現出せしめ之を美化する事の特徴とする *Al* 屬金屬又は其合金より成る製品の處理方法。

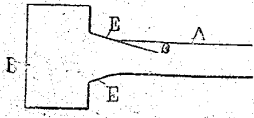
耐蝕性强力輕合金 (7年特許公告 第 2603 號、公告 7-7-1、西宮市、山村市男) 鑄造壓延加工共に容易にして極めて優良なる機械的性質を具備し然も顯著なる耐蝕力を有する輕合金を得んとする目的を以て *Mn* 0.1~5.0%、*Ni* 0.1~5.0%、*Mg* 0.1~3.0%、*P* 0.005~0.3%、*Sn* 0.1~3.0%、*Al* 殘部及其不純物を含有せる耐蝕性强力輕合金。

タービン羽根製造に適する小片或は素材の改良 (7年特許公告 第 2610 號、公告 7-7-1、英國、カザリン、パーリンス、外二名) 特に羽根の根部と幹部との接

續部附近を各輾延操作前に削磨することなくして輾延時に於ける折疊部生成を防止する如くなす目的を以て丁字形羽根を構成する如く其幹部を輾延する時折疊部生成を



第3圖



第4圖

防止するため該幹部を丁字形羽根の横置根部の附近に於て少しく擴開し依つて該擴開部の輪廓が前記幹部に對し若し直線ならば比較少なる角度(α)をなし又曲線ならば其の最大角度(β)が比較的小なる角度を爲す如く構成したることを特徴とする均等

厚さの丁字形タービン羽根素材。

防錆方法 (7年特許公告 第2611號、公告7-7-1、米國、パーカー、ラスト、プルーフ、コムパニー) 表面に殆んど不溶解性なる被覆層を生ぜしめ防錆の目的を達せんとする目的を以て磷酸と *Fe* 及 *Mn* の磷酸二水素鹽より成る溶液の作用に依り *Fe* 又は鋼の表面を防錆する方法に於て防錆工程中絶えず磷酸二水素を補給して液中の量を少くとも *Fe* の 1/3 に保持することを特徴とする防錆方法。附記、防錆工程を温度を高めて遂行することを特徴とする防錆方法。

酸化銅皮膜生成法 (7年特許公告 第2626號、公告7-7-4、東京府、加藤興五郎、外二名) 迅速に優秀なる酸化銅皮膜を生成し得ると共に物體の容積長さの如何に拘らず其上を容易に酸化銅皮膜にて被覆し得べからしむる目的を以て銅面若は銅の合金面又は銅の化合物例へば亞酸化銅の面上にアルカリ溶液の薄層を被着し之を酸素又は酸素を含有する瓦斯に接觸せしめて夫等面上に酸化銅皮膜を生成する方法。

アルミニウム屬金屬又は其合金より成る製品にモザイク模様を附する方法 (7年特許公告 第2633號、公告7-7-4、金屬材料研究所長) 斯種の金屬製品に美飾を施し其工業的價值を著しく高めんとする目的を以て *Al*, *Mg* 又は夫等の合金を以て作れる製品の表面に化學的又は機械的方法により凸凹模様を附する工程と其凹部に色彩塗料を塗着乾固せしむる工程と更に其表面を乾燥状態に於て平滑に研磨し凸部の地金を露出せしむる工程との順序結合を特徴とする *Al* 屬金屬又は其合金より成る製品にモザイク模様を附する方法。

硬金刀形成法 (7年特許公告 第2634號、公告7-7-4、東京市、小松徳太郎) 硬金末と其の接合材とを容易に混合せしむると同時に削缺研磨の加工を施さずして極めて簡便に刃體を形成せしめ其形成に要する手數、費用及時間を著しく節約すべからしめたる目的を以て硬金末

[ハードメタル末]を其の接合に適し且其硬金末より熔解點低き接合材[バインディング、メタル]にて作れる管内に填充し之を其管の熔解する温度にて加熱し接合材管を熔解せしめて内部の硬金末と混合せしめつゝ耐火物質にて刃形に作りたる凹形内に陥入せしめ其の冷却に依り刃體を形成せしむる硬金刃形成法。

磁性合金の焼鈍法 (7年特許公告 第2636號、公告7-7-4、東京市、古河電氣工業株式會社) 銅線を過熱することなくして磁性合金を焼鈍し裝荷中に招來する導磁率の降下を可及的回復せしめんとする目的を以て磁性合金線を豫め紙を捲き又は可燃性の油脂類或は塗料を塗布せる銅線上に常法に従ひ裝荷し之を連続的に二つの電極に接觸せしめつゝ移動せしめて電流の作用によりて該合金を急速に焼鈍する事の特徴とする磁性合金線の焼鈍法。

光電池用亞酸化銅製作法の改良 (7年特許公告 第2645號、公告7-7-4、東京府、逓信大臣) 感度良好にして皮膜の堅牢なる製品を得んとする目的を以て銅の表面に酸化第一銅及酸化第二銅の皮層を形成せしめ次に酸化第二銅を電解的又は化學的に金屬銅に還元したる後其還元したる金屬銅の一部を除去し酸化第一銅を露出せしめて成る光電池用亞酸化銅の製作方法。

鋼鐵クロミウム合金 (7年特許公告 第2648號、公告7-7-4、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し強度及硬度高く且つ耐摩滅性及耐蝕性大にして能く高温に耐へ得る合金を得んとする目的を以て *Cu* 40~89%、*Fe* 10~50%、*Cr* 0.1~10% を含有する合金。

鐵の防錆方法 (7年特許公告 第2649號、公告7-7-4、高松市、成瀬男) 極めて優秀なる防錆被覆を鐵の表面に經濟的に形成せしめんとする目的を以て磷酸に *Mg* を溶解し適度の濃度に稀釋したる溶液を煮沸し其の中に鐵を1~2時間浸漬したる後取出し該 *Fe* の表面が乾かさる時に粉碎したる硫黃を散布附着せしめ火焰上にて該鐵の表面に附着せる硫黃を燃焼せしめて該鐵の表面に防錆被覆を形成せしむる *Fe* の防錆方法。

接着タンタラム、カーバイト (7年特許公告 第2651號、公告7-7-4、東京市、株式會社芝浦製作所) 硬質強靱にして容易に整形研磨し得べく又通常のエメリー研磨輪を以て刃先を附し得る切削刃物に適當なる材料を得る目的を以てタンタラム、カーバイトを主成分とする接着炭化物の合成物。附記1、主としてタンタラム、カーバイトより成るも之よりも低き熔融點を有する相當量の接着劑を含有する合成物。同2、上記接着劑は *Ni* なる附記一項記載の合成物。

定電流自動電弧熔接装置 (7年特許公告 第2659號、公告 7-7-4、神戸市、株式會社川崎造船所) 熔接電流を常に一定し被熔接物に熔着する金屬の厚さを一樣ならしむる目的を以て電弧電流回路に直列に設置せる抵抗内に於ける電壓降下を電極移行装置を制御すべき繼電器に給與し電弧電流の變動により電極を進退せしめ常に自動的に熔接電流を略一定値に確保し得べくしたることを特徴とする定電流自動電弧熔接装置。

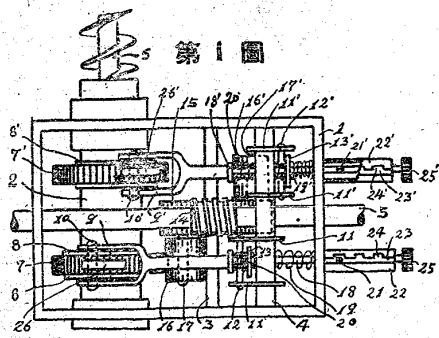
鋼鐵錫合金 (7年特許公告 第2663號、公告 7-7-6、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し抗張力比較的高く耐摩滅性甚大にして且つ其の價格比較的に低廉なる合金を得んとする目的を以て Cu 55~92%、 Fe 7~35%、 Sn 1~10% を含有せる合金。

鋼鐵ニッケルクロミウム合金 (7年特許公告 第2665號、公告 7-7-6、東京市、日本特殊金屬工業株式會社) 磁性を有し硬度及抗張力高く且つ耐摩性及耐蝕性大にして能く高温に耐へうる合金を得んとする目的を以て Cu 25~85%、 Fe 7~40%、 Ni 0.1~40%、 Cr 0.1~10% を含有する合金。

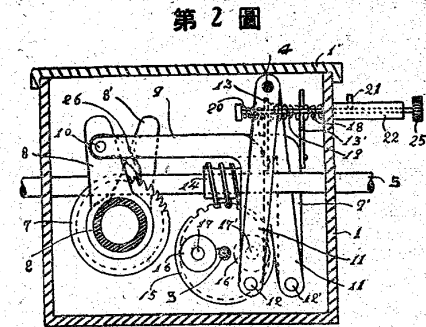
オイル、バーナー (7年特許公告 第2668號、公告 7-7-6、兵庫縣、大原康三) 他に何等の附加的設備を要せず比較的小形の器を以て如何なる種類の油に對しても完全燃焼を爲すべき状態を呈せしむべき此種バーナーを得んとする目的を以て燃油噴出嘴の先方に於て根元より先端に行くに従ひ漸次其の内徑を擴大せる喇叭管状通路を其の先端部を中心に渦卷状に旋曲せしめ更に該中心より渦卷面に直角の方向にベントリー、チューブ型噴出口を設けたるオイル、バーナー。

送炭調節装置の改良 (7年特許公告 第2671號、公告 7-7-6、京都市、米花安藏) L字状杆の下端部と輾車との係合によりL字状杆を前後に移動せしめ其の一端により螺旋杆を回轉せしめ且前記調節杆を前後に摺動せしむる事によりL字状杆の下部と輾車との係合時間を調節せしめ従つて輾車によるL字状杆の被動距離を調節せしめかくて螺旋杆の回轉量を調節せしめ以て簡單なる装置と簡單なる操

作により送炭の調節を行はしめんとする目的を以て原動機により回轉せらるゝ一つの移動車の側面に扁心軸



第1圖



第2圖

を植立し之に輾車を装着し別にL字状に彎曲せる杆を設けて其の一端はラツチエツトホキール装置により送炭用螺旋杆に連結し他端は前記輾車と問題的に係合する様なしH.固定軸の廻りに回轉し得る支持杆の下端に樞着し又L字状杆の彎曲部には枝杆を設け其上端を前後に摺動し得る調節杆に連結してなる送炭調節装置。

微粉炭燃焼装置 (7年特許公告 第2672號、公告 7-7-6、大阪市、佐藤徳三郎) 燃焼を困難視されたる無煙炭コークス等の微粉燃料を容易に而も長時間連続して完全に燃焼すべからしめんとする目的を以て燃料貯藏胴下口部に中空筒を中央に有し通焰管を周側より射出せる笠状の燃料誘道板を設置し且つ之か直下の爐格上燃焼室の周側壁を段階爐格となせる微粉炭燃焼装置。

矽素及アルミニウムを含有する鑛物よりアルミニウムを抽出する方法 (7年特許公告 第2684號、公告 7-7-6、東京府、航空研究所長) Al と共に多量の Si を含有する鑛物より容易且經濟的に酸化 Al を製造せんとする目的を以て Si と共に Al を含有する鑛物を常壓の下に苛性曹達の濃厚液にて沸騰加熱する第一工程と之に石灰を加へ煮沸乾燥する第二工程と更に該乾燥物を焙焼する第三工程との結合を特徴とし之れを水にて處理し Al をアルミン酸曹達として抽出する Si 及 Al を含有する鑛物より Al を抽出する方法。

壓搾機用鐵、自動機用鐵、螺旋用鐵又は是等と同等品の如き燐含有量高き截斷に堪え得べき鐵の製造方法 (7年特許公告 第2688號、公告 7-7-6、獨逸、フリードリッヒ、ボルググレーフェ) 製法簡單にして費用低廉に前記鐵を得んとする目的を以て Si 含有量豐富なる裝填物を脱酸素劑の相當量を附加しつゝ精煉するに當り該裝填物の含燐量を裝填に依り調節せしめ置き之を酸性内脹を有する爐中に於て精煉せしむるを特徴とする壓搾機用鐵、自動機用鐵、螺旋用鐵の如き燐含有量高き截斷に堪え得べき鐵の製造方法。

附記 1、キヌボラ爐に於て P を含有し Si に富める熔融せる裝填物に小ベツセマー轉爐中に於て空氣精煉法に従ひて脱酸素劑の相當せる融劑を添加しつゝ空氣を吹込むことを特徴とする方法。同 2、碎屑、赤鐵鑛粗鐵及燐

酸第一鐵、燐塊石ヴイヴイアニットの如き *P* 含有融劑より成る裝填物を豫備熔融せしめ以て *Si* に富み *P* を含有せる豫備生成物をキューボラ爐中に於て生成せしめ其際 *P* に富める融劑の *P* 含量を製造完了後の *P* 含量に相當する様加減することを特徴とする附記第一項記載の方法。同 3、*Si* に富み *P* を含有せる裝填物を酸性シーメンスマルチン爐に於て脱酸素劑の相當せる融劑を添加しつゝ精煉することを特徴とする方法。同 4、*Si* に富み *P* を含める裝填物をトーマス粗鐵又は例へば燐酸第一鐵、燐塊石ヴイヴイアニットの如き他の *P* 含有融劑を碎屑、赤鐵鐵粗鐵又は硅素鐵に加へて生成せしめ其際 *P* に富める融劑の *P* 含量と製造完了後の *P* 含量に相當する様加減することを特徴とする附記第三項記載の方法。同 5、前記裝填物に製造完了後 *S* 0.15%、*Cu* 0.2%、*P* 0.2~0.5% を含有せしむる割合に於て *P*、*Cu*、硫黃又は黃鐵礦を添加することを特徴とする方法。同 6、*Cu* 硫黃又は黃鐵礦の添加物を前記豫備生成物とキューボラ爐中に於て熔融することを特徴とする附記第五項記載の方法。同 7、*P* に富める添加物又は *Cu*、硫黃又は黃鐵礦の融劑添加物を單獨に又は選擇的に或は全部を同時に粗鐵製用釜又は鋼製用釜中に於て又は間接にシーメンスマルチン爐中の裝填物に添加することを特徴とする方法。

特殊鹽浴に依る鋼の焼入法 (7年特許公告 第 2704 號、公告 7-7-8、陸軍大臣) 各種鋼に對し焼入溫度を正確ならしめ且被加熱物の過熱及脱炭を防止すると共に加熱時に於ける腐蝕減量を極めて僅少ならしめ之に依り形狀寸法の變化を防ぎ以て其の焼入効果を一層顯著ならしめむとする目的を以て、重量百分率次の如く混合されたる特殊鹽浴に依る鋼の焼入法、混合率の範圍、鹽化バリウム 45~65%、鹽化カリウム 5~15%、硼砂(無水) 20~50%、標準混合率、鹽化バリウム 56.7%、鹽化カリウム 10%、硼砂 33.3%。

光電池用亞酸化銅皮膜生成方法 (7年特許公告 第 2706 號、公告 7-7-8、逓信大臣) 感度良好なる光電池用亞酸化銅を得る目的を以て *Cu* の表面を *Ag* 又は同效を有する *Cu* 以外の金屬の薄層を以て被覆したる後之を酸素の存在に於て加熱することを特徴とする光電池用亞酸化銅皮膜生成方法。附記 1、加熱をマグネシヤ其他の粉末中に於て行へる光電池用亞酸化銅皮膜生成方法。

中間鹽利用に依る炭酸アルカリ製造法 (7年特許公告 第 2708 號、公告 7-7-8、東京市、旭硝子株式會社) 循環的連續作業に依りアムモニアを容易に液狀に於て回収し裝置及操作を簡單ならしめ且つ純度高き炭酸アルカリ及び無水粉末狀の鹽化石灰或は鹽化マグネシ

ウムを收率多く製造せんとする目的を以て液體アムモニアに可溶性なるカルシウム又はマグネシウム鹽の存在に於て鹽化アルカリを液體アムモニアに溶解し反應せしめ折出すカルシウム又はマグネシウムの鹽化物を分別し溶液に更に炭酸瓦斯を通しカルバシン酸アルカリを沈澱せしめ之を蒐集し炭酸アルカリ若くは重炭酸アルカリに分解せしむることゝカルバミン酸アルカリの母液に石灰又は酸化マグネシウムを加へアムモニア鹽を分解して液體アムモニアとして回収し之を反覆使用することゝの結合を特徴とする炭酸アルカリ製造法。附記、前記目的を達する爲めに鹽化アルカリの置換反應後析出するカルシウム又はマグネシウム鹽化物のアムモネートを減壓の下に加熱分解しアムモニアを回収し乾燥粉末狀態の鹽化石灰又は鹽化マグネシウムを副生せしむる炭酸アルカリ製造法。

モリブデン及タンゲステンのカルボニールを製造する方法 (7年特許公告 第 2730 號、公告 7-7-8、獨逸、イー、ゲー、フアルベンインツストリー、アクチエンゲゼルシャフト) *Mo* 及 *W* のカルボニールを極めて收率よく製造せんとする目的を以て *Mo* 或は *W* 含有物質として重金屬〔例へば *Cu* 或は *Fe*〕或はその化合物と混合して還元處理せられたるものに加温加壓の下に酸化炭素を作用せしむる事を特徴とする *Mo* 及 *W* のカルボニールを製造する方法。附記、原料物質として *Mo* 或は *W* 或はその化合物の外に既に重金屬或はその化合物を含有するが如き鑛石、中間生成物或は廢棄物を使用する方法。

特許拔萃

電氣抵抗用合金 (特許第 95609 號、特許 7-4-25、東京府、増田武) (公告拔萃記載誌鐵と鋼第 17 年 11 號)

有機性金屬鹽を以て金屬を被覆する方法 (特許第 95655 號、特許 7-4-30、米國、メタル、フイニシング、レサーチ、コーポレイション) (公告拔萃記載誌鐵と鋼 18 年 2 號)

アルミニウム鑛 (特許第 95678 號、特許 7-5-4、名古屋市、柴田安助、外三名) (公告拔萃記載誌鐵と鋼 第 18 年 2 號)

強力なる耐蝕性鋼合金 (特許第 95712 號、特許 7-5-5、大阪市、住友伸鋼鋼管株式會社) (公告拔萃記載誌鐵と鋼 第 18 年 2 號)

シーメンスマルチン爐の蓄熱裝置 (特許第 95782 號、特許 7-5-11、伊太利國、チリニ、リシエタ、ペル、リングストリア、エ、レトリシタ) (公告拔萃記載誌鐵と鋼 第 18 年 3 號)